

詳細は
こちらから

なぜ高い？ 福井県の 幸福度ランキング



因子分析を用いて、客観的データから福井県の幸福度が高くなる潜在要因を抽出

**なぜ福井県は幸福度がトップなの？
実感ないけど・・・**

全47都道府県幸福度ランキングにおいて、福井県は、2014年以降、総合ランキングで1位を継続している。しかしながら、各種県民アンケートによると、幸せの実感は薄いとといった意見が多い。これには主観的な要素が影響しており、その評価にはブレが生じやすい。そこで持続可能な社会共創委員会では「客観的な指標」に着目し、福井県の幸福度が高い理由について独自に分析することを試みた。

福井県の特徴は？

議論百出のブレインストーミング

はじめに、大学や行政、マスコミ関係者などをメンバーに加えたワーキンググループ(WG)を立ち上げ、福井県の幸福度に影響を与えそうな指標について議論。次に、幸福度ランキングを構成する指標とWGで独自に抽出した指標を組み合わせ、因子分析を用いて解析を行った。

二つの主な潜在因子を発見！

まず、因子1に反応する指標とし

て「三世代同居」「食料自給率」「年間降水日数」などが挙げられる。地域で自給自足が可能、天候不良により家族時間が増加といったイメージにより、因子1は「家族・地域コミュニティ」のつながりの濃さ」と名付けた。

因子2では「60歳以上就業率」「美意識」「温水便座普及率」「可処分所得」などの指標が強く反応。都市圏に近く人口が少ないと有利、生活費はかかりにくい、就業率が高く世帯収入が多い、といったイメージにより、因子2は「ゆとり生活構造」と名付けた。

さらに、因子1・2を用いたポジショニングマップでは、北陸3県は同じポジションに位置付けられる。これらは時間をかけて作り上げた地域文化や経済構造、地政学的要因が基礎となっており、安定して幸福度を押し上げる要因と推測される。

今後の展開

先月発刊された都道府県幸福度ランキング2024年版において、福井県は6回連続で総合ランキング1位を獲得した。また、当委員会の幸

福度分析については、先駆的な取り組みとして高く評価され、巻末に内容が掲載されている。今回得られた結果は、行政や関係機関と共有し、また、各企業が社員の幸福度を考えるきっかけとすることで、企業や地域の発展につながることを期待したい。(担当：創業・経営支援課)

家族・地域コミュニティのつながりの濃さ

ポジショニングマップ

